

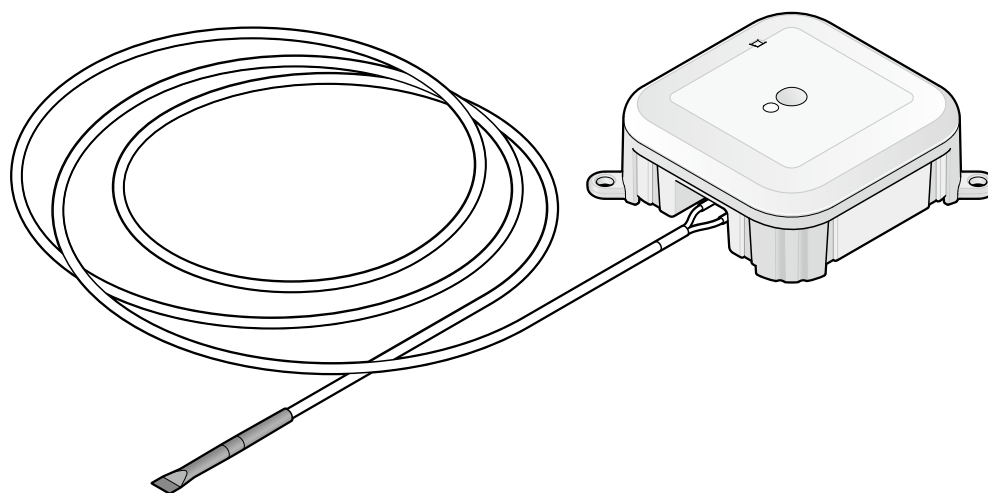
漏水みはり番 監視システム

LSEGシリーズ

【LTE版】LSEG-2LT

取扱説明書

『漏水みはり番LSEGシリーズ【LTE版】LSEG-2LT』をご購入いただき、ありがとうございます。
ご購入品の型式が一致しているかご確認の上、本取扱説明書に従い、ご使用ください。



- 本製品を安全に正しく使用していただくために、ご使用前に必ず本書をお読みいただき、十分に理解してからご使用ください。
- 本書はお使いになる方がいつでも見られるように必ず保管してください。

目次

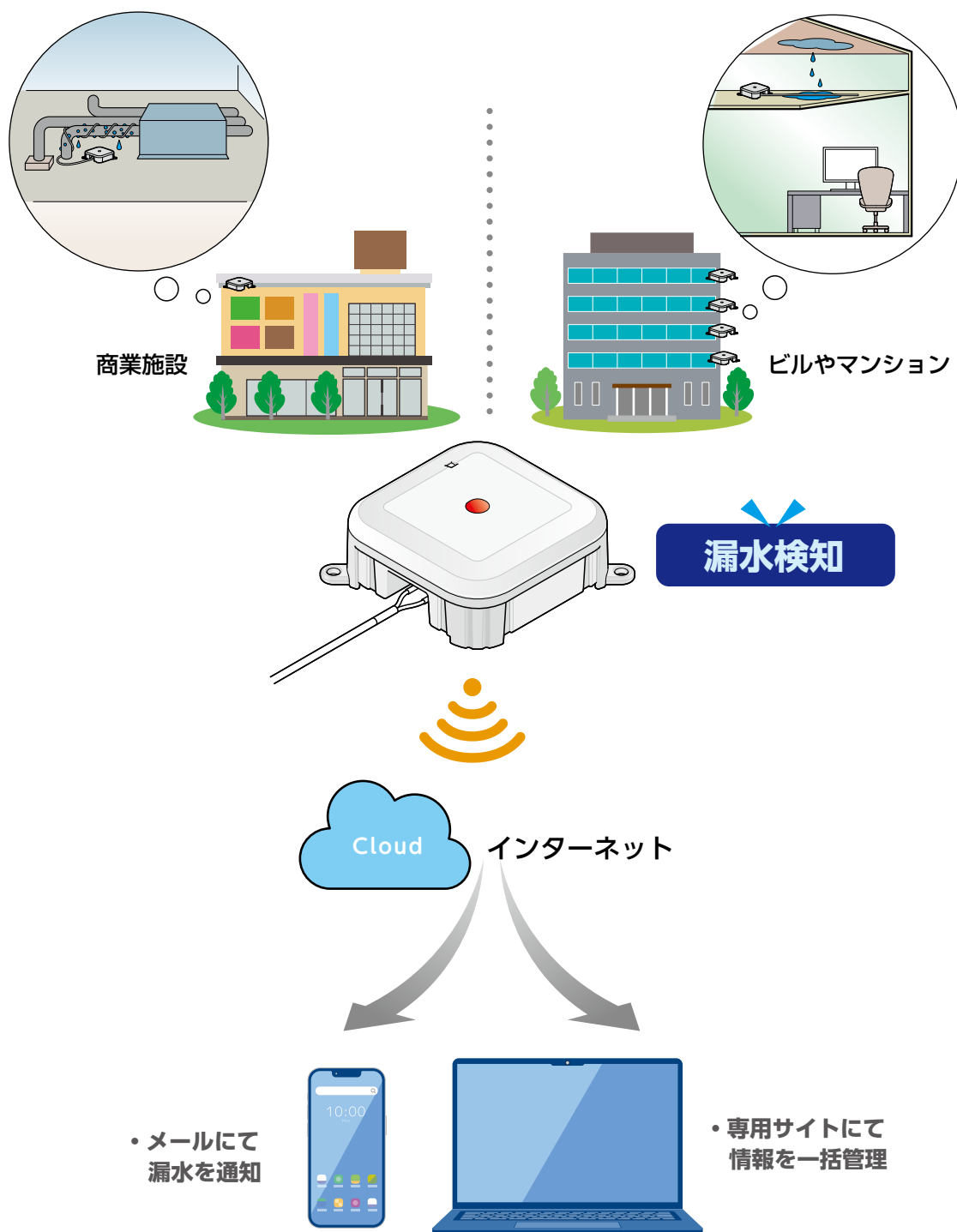
はじめに	3
安全上のご注意	4
1. 梱包内容と各部の名称	5
1.1 梱包内容	5
1.2 各部の名称	5
1.3 状態表示用LEDについて	6
2. 仕様	7
2.1 製品仕様	7
2.2 専用サイトの動作環境	8
2.3 使用期間	8
3. 設置について	9
3.1 検知帯の取り付け	9
3.2 漏水検知部分	9
3.3 設置例	10
3.4 設置できない場所	10
4. 設定から運用までの流れ	11
5. 専用サイトの設定	12
5.1 専用サイトへのアクセス	12
二次元コード読み取りによるアクセス (推奨)	12
URLへの直接アクセス	12
5.2 アカウントの作成方法	13
5.3 専用サイトへのログイン	15
パスワードを忘れた場合	16
認証コード入力前に認証コードの入力画面が消えた場合	17
認証コードの再取得	19
5.4 建物の登録手順	21
二次元コードでログインした場合	21
URLをブラウザ入力してログインした場合	22
建物の初回登録	23
建物の追加登録	25
5.5 漏水みはり番の登録手順	26
建物、漏水みはり番の登録削除	32
MFA (多要素認証) について (オプション機能)	33
6. 本体の設置と通信確認	34
7. 専用サイトについて	37
トップ画面の開きかた	37
ステータスアイコン	38
建物詳細情報表示	39
漏水みはり番詳細情報表示	40
漏水みはり番のログ表示	42
ユーザ設定変更	43
アカウント設定	44
表示・通知設定	47
通知内容	48
8. 運用上の注意・その他	49
8.1 漏水検知した場合	49
8.2 通信途絶が発生する場合	49
8.3 使用可能な期間	49
9. トラブルシューティング	50
保証について	51

はじめに

「漏水みはり番」監視システムは、インターネットを介して専用のウェブサイト（以下「専用サイト」）にデータを送信し、漏水発生を迅速に通知するシステムです。

漏水検知時のメール通知、通信内容を確認するためには、事前に専用サイトでアカウント作成し、漏水みはり番の登録が必要になります。





本製品の使用期間は、最初に製品を登録した日から3年間です。また、本製品内蔵の電池を交換することができないため、電池が切れる目安（製品寿命）は製造から10年間です。ご購入後すぐに、製品を登録して使用を開始してください。




安全上のご注意


安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、正しくお使いください。



以下の絵表示は製品使用時の重要な注意事項を示すために使用されます。


 警告	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。		禁止を促す記号
 注意	傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。		強制を促す記号

警告


-  製品仕様の条件下でご使用ください。誤動作、破損や故障の原因となります。


 本製品を乳幼児にさわらせないでください。事故やケガの原因となります。


 分解や修理、改造はしないでください。事故やケガ、故障の原因となります。火災や感電の原因となります。
-  薬品や化学製品など、水以外の溶液のものへの検知には使用しないでください。事故やケガ、故障の原因となります。火災や感電の原因となります。



 ご使用前に必ず本取扱説明書に従い、設定、設置をしてください。誤動作、破損や故障の原因となります。


注意


-  本製品を衝撃が加わる環境下に設置しないでください。誤動作、破損や故障の原因となります。


 本製品の上に物を載せる、踏む、ぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。誤動作、破損や故障、ケガの原因となります。

 輸送時や移動時などに本製品を落とさないでください。誤動作、破損や故障の原因となります。

 センサ本体に故意に水をかけないでください。誤動作、破損や故障の原因となります。
-  火気(タバコなど)を近づけたり、熱湯をかけたりしないでください。

 端子ネジなどの部品を口にくわえないでください。また、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。誤飲により窒息する恐れがあります。

 本製品をアルコールや洗剤等で拭かないでください。破損や故障の原因となります。

 本製品はリチウム電池を使用していますが電池を交換できません。電池が切れた場合は産業廃棄物として廃棄してください。

専用サイトについて

本書に記載している画面やイラストなどは説明用のものです。実際とは異なる場合があります。

本サービス・機能は、バージョンアップにより仕様変更される場合があります。

専用サイトは、全てのPCやスマートフォンで動作を保証するものではありません。機種により動作が不安定になり、うまく動作しない場合があります。

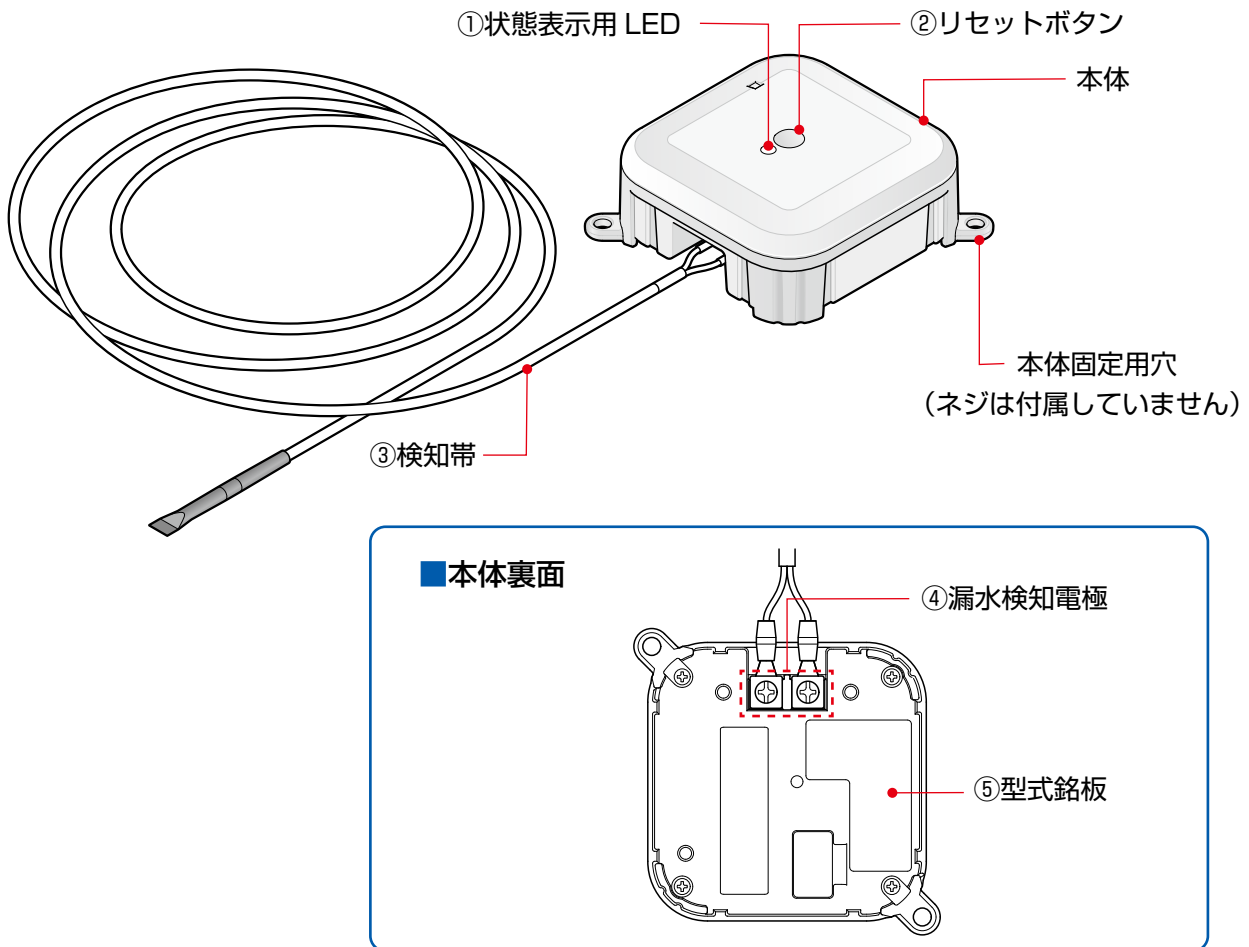
1. 梱包内容と各部の名称

1.1 梱包内容

開封したら、梱包内容を確認してください。

- ・本体
- ・検知帯 (2m)
- ・簡易マニュアル (保証書付)

1.2 各部の名称



No.	名称	機能概要
①	状態表示用LED	状態表示を示すLED ([1.3 状態表示用LEDについて] (→P.6) 参照)
②	リセットボタン	状態確認する場合に1回押す 漏水状態から復帰させる場合に1回押す。
③	検知帯	漏水を検知する帯状のセンサ
④	漏水検知電極	端子台 (検知帯を取付け)
⑤	型式銘板	型式、機材ID、二次元コードなど

1.3 状態表示用LEDについて

状態表示用LEDは、定期通信時とリセットボタンを押した時に発光します。
 ※漏水判定時は1度だけ赤色に自動発光し、その後は下記の通りとなります。

LED発光色	状態	LED発光回数
● (緑)	漏水なし	2回/秒(点滅)
● (赤)	漏水検知	2回/秒(点滅)
● (赤)	電池残量少ない(製品寿命が近い)	5回/秒(点滅)
● / ● (赤/緑)	断線検知	2回/秒(点滅)
● / ● (赤/緑)	通信不良発生	5回/秒(点滅)
● / ● (赤/緑)	通信中	不規則点滅 1分間以上点滅の場合あり

POINT

- 漏水検知した場合は、速やかに設置場所の状況をご確認ください。
- 一度「漏水検知」すると、設置場所の漏水が無くなっても「漏水検知」を発報し続けます。
- 「漏水検知」の発報を止めるには、漏水みはり番(検知帯含む)を完全に乾燥させてから、漏水みはり番のリセットボタンを押してください。
- 漏水が5秒未満の場合「漏水検知」しません。

2. 仕様

2.1 製品仕様

型式 LSEG-2LT

環境仕様	動作周囲温度	-10 ~ 50℃ (氷結無きこと)
	動作周囲湿度	5 ~ 95% RH (結露無きこと)
	保存周囲温度	-15 ~ 55℃ (氷結無きこと)
	保存周囲湿度	5 ~ 95% RH (結露無きこと)
	使用場所	屋内(直射日光が当たらない場所)
電気仕様	定格電圧	3V(リチウム電池)
構造仕様	外形寸法	77mm (W)×77mm (D) ×30mm (H)
	重さ	80 g (検知帯を除く)
	材質	PE
	設置構造	直置き、ネジ固定可(M4×2本)
	保護等級 (防水)	IPx5相当
通信仕様	通信方式	LTE Cat.M1 (SORACOM eSIM)
検出仕様	検出対象	水 (電気抵抗率10kΩ・cm以下、純水/薬品/油等は不可)
	検知帯長さ	2m
検知/復帰仕様	漏水検知	漏水連続5秒以上で漏水検知 漏水復帰するまで発報継続
	漏水復帰(漏水なし)	本製品を乾燥後、リセットボタンを押すと復帰
	発報間隔 (専用サイト上)	<ul style="list-style-type: none"> 漏水なし：10日に1回(定期発報) 漏水検知：即座に発報。その後、1日1回発報 断線検知：1時間に1回断線自己診断。 断線検知した場合は次回自己診断時に発報。 その後、1日1回発報
	発報間隔 (メール通知)	<ul style="list-style-type: none"> 漏水検知：即座に発報。その後、1日1回発報 漏水なし：漏水検知から漏水復帰してリセットボタンを押した時に発報。

POINT

- 製品仕様については当社の試験条件に適合していますが、全ての環境下で保証するものではありません。ご使用の環境によっては事前テストでご確認の上ご使用ください。
- サーバに送信できたデータのみ専用サイトで閲覧できます。通信環境が悪く、サーバに送信できなかったデータは閲覧できず、発報間隔が仕様より長くなります。10日以上サーバに送信できなかった場合は、専用サイトで通信途絶のアイコンが表示されます。
- 漏水検知の通知は、即座に行われた後、1日1回行われますが、場合によっては1時間程度遅れることがあります。

2.2 専用サイトの動作環境

推奨動作環境は以下のとおりです。

動作項目	項目	内容
専用サイト	Webブラウザ	Chrome, Safari, Edge

2.3 使用期間

本製品の使用期間は、最初に本製品を専用サイトに登録した日から3年間です。

また、本製品内蔵の電池を交換することができないため、製品寿命は製品製造後10年間です。ご購入後すぐに、製品を登録して使用を開始してください。

3. 設置について

本製品は、商業施設やビル、不動産、生産現場、工場、一般家庭での漏水検知を目的としています。漏水を検出したい場所に本体を設置し、検知帯をパイプや床に沿わせてご使用ください。

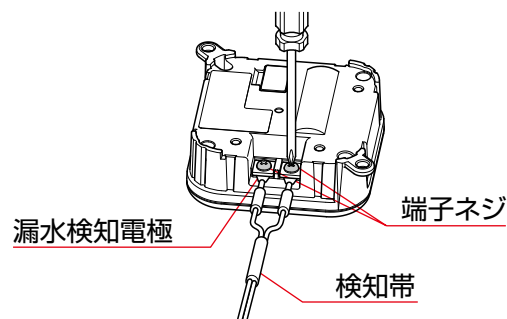
3.1 検知帯の取り付け

使用前に検知帯を取り付けてください。漏水検知電極に取り付けられたネジを取り外して、検知帯の引き出し電極をそれぞれの端子に差し込み、再度、ネジで締め付けてください。

※漏水検知電極と引き出し電極の組み合わせは、特にありません。どちらを取り付けても動作します。

※引き出し電極に表裏はありません。

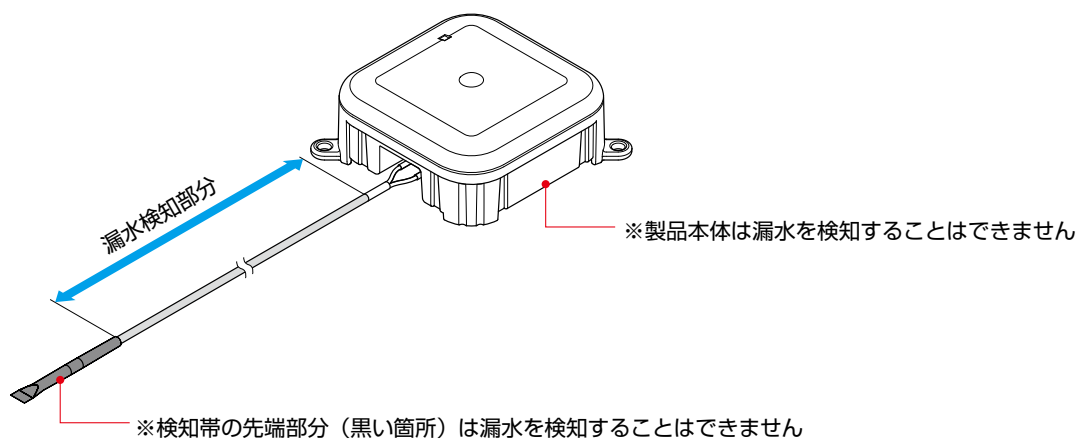
※漏水みはり番に取り付けられていたネジをそのままご使用ください。



3.2 漏水検知部分

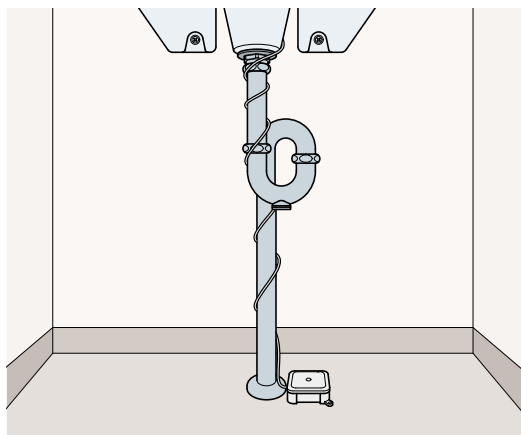
漏水を検出したい箇所に検知帯の漏水検知部分が密着するように固定してください。

固定方法は、「6. 本体の設置と通信確認」(→P.34)を参照してください。

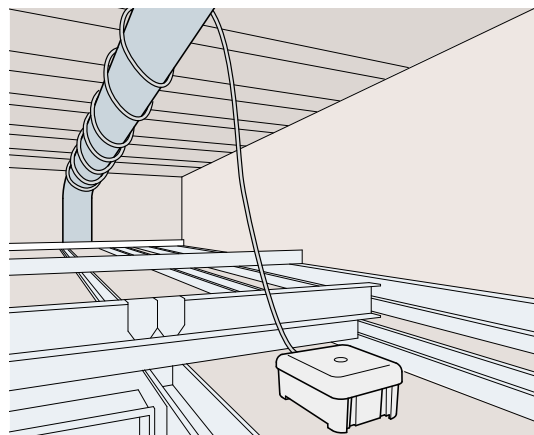


3.3 設置例

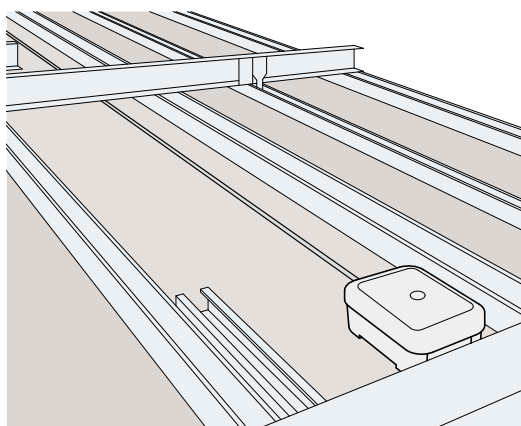
■ 排水管などのパイプ回りに



■ 重要な配管回りに



■ 天井裏などの床面に



POINT

- 本体の固定に必要なネジや検知帯の固定具などは付属していません。お客様でご用意ください。
- 検知帯は必ず同梱されているものをご使用ください。
- 検知帯を強くひっぱたり、無理に曲げたりすると破損の原因になります。
- 製品本体は漏水を検知することができません。直接水がかからない場所に設置してください。

3.4 設置できない場所

本体の故障や誤動作の原因になるため以下の場所への設置はしないでください。

- ・ 電波状況が悪い場所
- ・ 本体が踏まれる、物がぶつかるなど、強い衝撃が加わるおそれのある場所
- ・ 本製品の製品仕様に適合しない場所

4. 設定から運用までの流れ

本製品を利用した監視システムを運用できるようにするための大まかな流れは、以下の通りです。



POINT

- 任意にて、MFA (多要素認証) を設定することも可能です。(⇒P.33)

5. 専用サイトの設定

漏水みはり番の情報を閲覧できるように専用サイトの設定を行ってください。

5.1 専用サイトへのアクセス

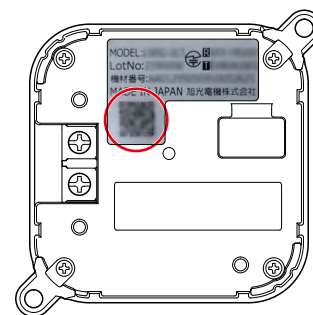
型式銘板の二次元コードを読み取るもしくは、URLをブラウザに直接入力するとログイン画面が開きます。



■ 二次元コード読み取りによるアクセス(推奨)

本体裏側にある型式銘板の二次元コードを読み取ると専用サイトのログイン画面が開きます。

【本体裏側】



■ URLへの直接アクセス

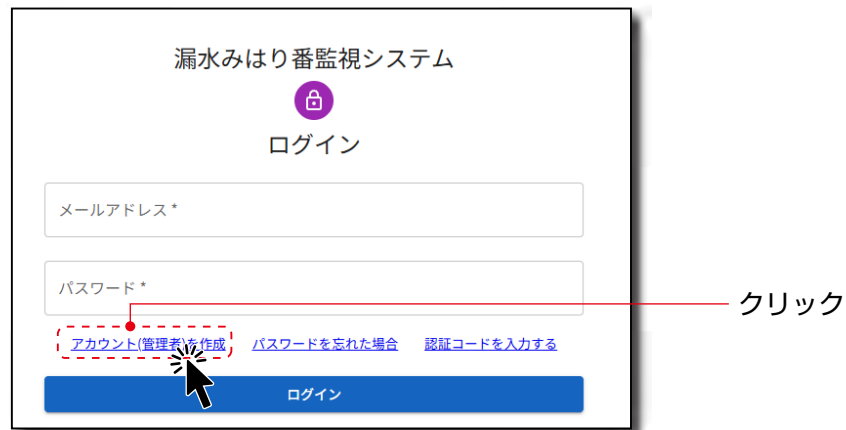
以下のURLをブラウザに直接入力するとログイン画面が開きます。

<https://kyokko.rousui-system.com/>

(※) 上記URLはブックマークしておくことを推奨します。

5.2 アカウントの作成方法

1. 「ログイン画面」で【アカウント（管理者）を作成】をクリックします。

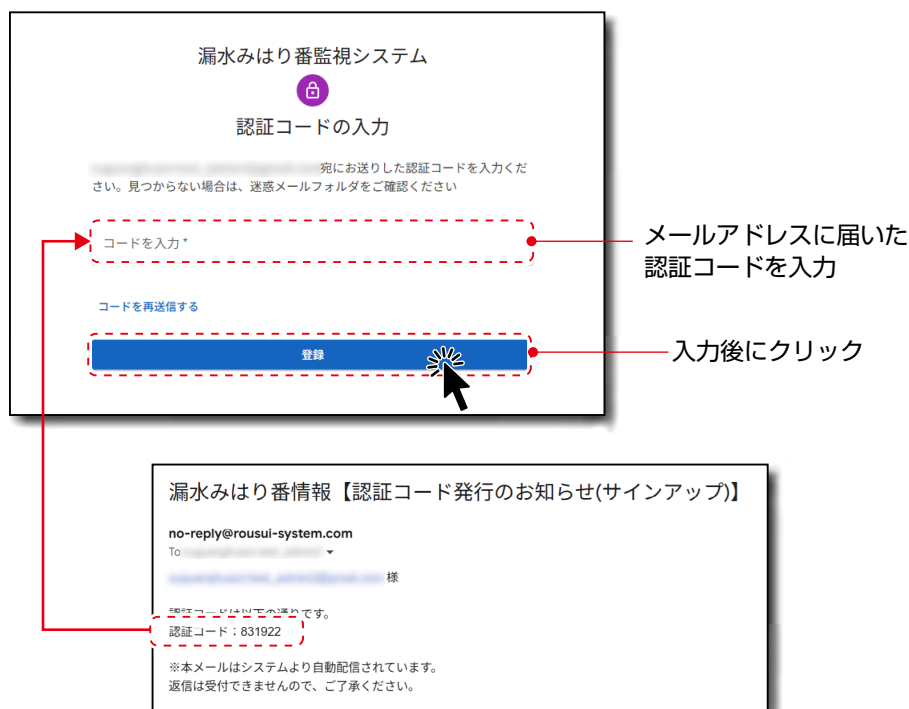


→ 「アカウント作成画面」が開きます。

2. 各項目入力して、【次へ】をクリックします。

→ 「認証コードの入力画面」が開き、登録したメールアドレスに認証コードが送信されます。
※半角英大文字・半角英小文字・数字を含む、8文字以上のパスワードを設定してください。

3. 認証コードを入力し【登録】をクリックします。



→ アカウント作成の完了です。

POINT

- メールアドレスの最後にスペース等を入れないようにしてください。「サインアップエラー」が発生します。
- メールに「認証コード」が届かない場合は、迷惑メールに入っていないか、入力したメールアドレスに間違いが無いか、「no-reply@rousui-system.com」がドメイン拒否されていないかご確認ください。
- メールで「認証コード」を確認する際、「認証コードの入力画面」を閉じた場合は、「**■認証コード入力前に認証コードの入力画面が消えた場合 (⇒P.17)**」を参照して、取得した認証コードを入力してください。
- 事前にメールBOXの空き容量を確認してください。メールBOXの空き容量がないと通知メールが届かない場合があります。
- この作成方法により、administrator権限のアカウントが作成されます。sub_admin, manager, user権限のアカウントを追加作成する場合は、「アカウント設定」(⇒P.44)を参照してください。

5.3 専用サイトへのログイン

1. 専用サイトへアクセスし (⇒P.12)、「5.2 アカウントの作成方法」(⇒P.13)で登録したメールアドレス (以下、ログインメールアドレス) とパスワードを入力し、【ログイン】をクリックします。

漏水みはり番監視システム

ログイン

メールアドレス*

パスワード*

[アカウント\(管理者\)を作成](#) [パスワードを忘れた場合](#) [認証コードを入力する](#)

ログイン

アカウント登録したメールアドレス

アカウント登録したパスワード

各項目入力後にクリック

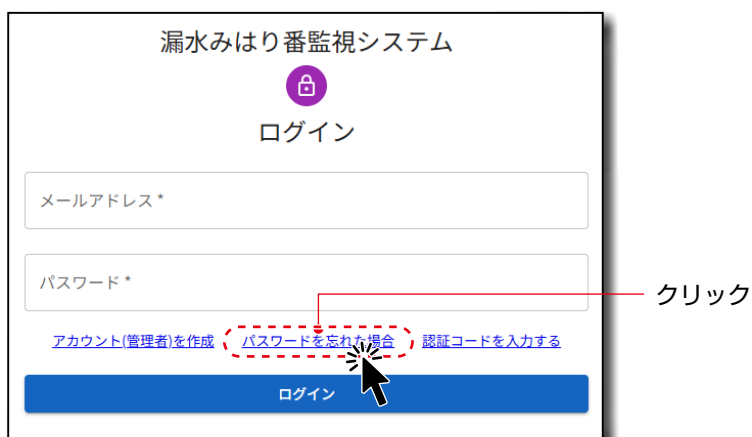
→ 専用サイトへログインします。

POINT

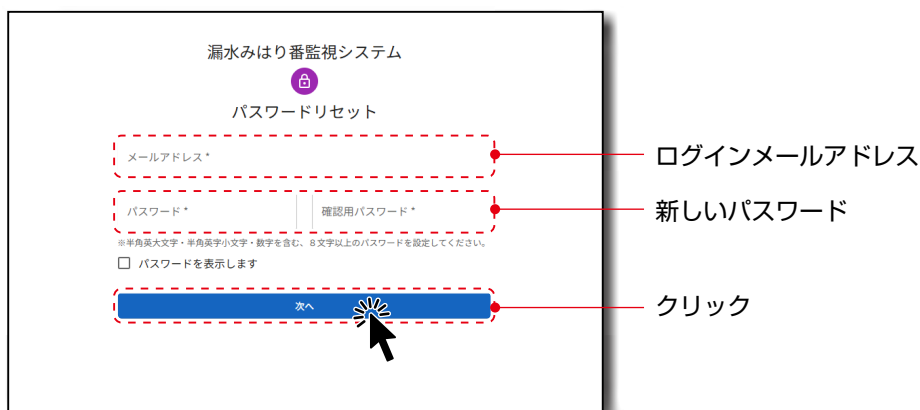
- パスワードを忘れた場合は、「パスワードを忘れた場合」(⇒P.16)を参照してください。

■ パスワードを忘れた場合

1. 「ログイン画面」で【パスワードを忘れた場合】をクリックします。



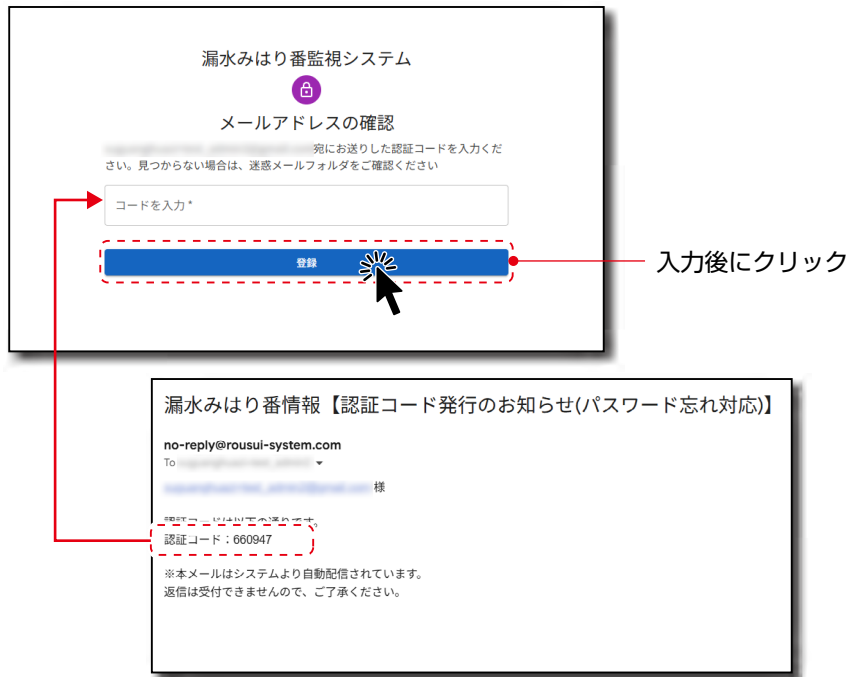
2. 各項目入力後【次へ】をクリックします。



→ 「メールアドレスの確認画面」が開き、同時にログインメールアドレスに認証コードが送信されます。新しいパスワードを設定してください。

※半角英大文字・半角英小文字・数字を含む、8文字以上のパスワードを設定してください。

3. 認証コードを入力して【登録】をクリックします。



→ 「ログイン画面」が開くので、変更したパスワードでログインしてください。

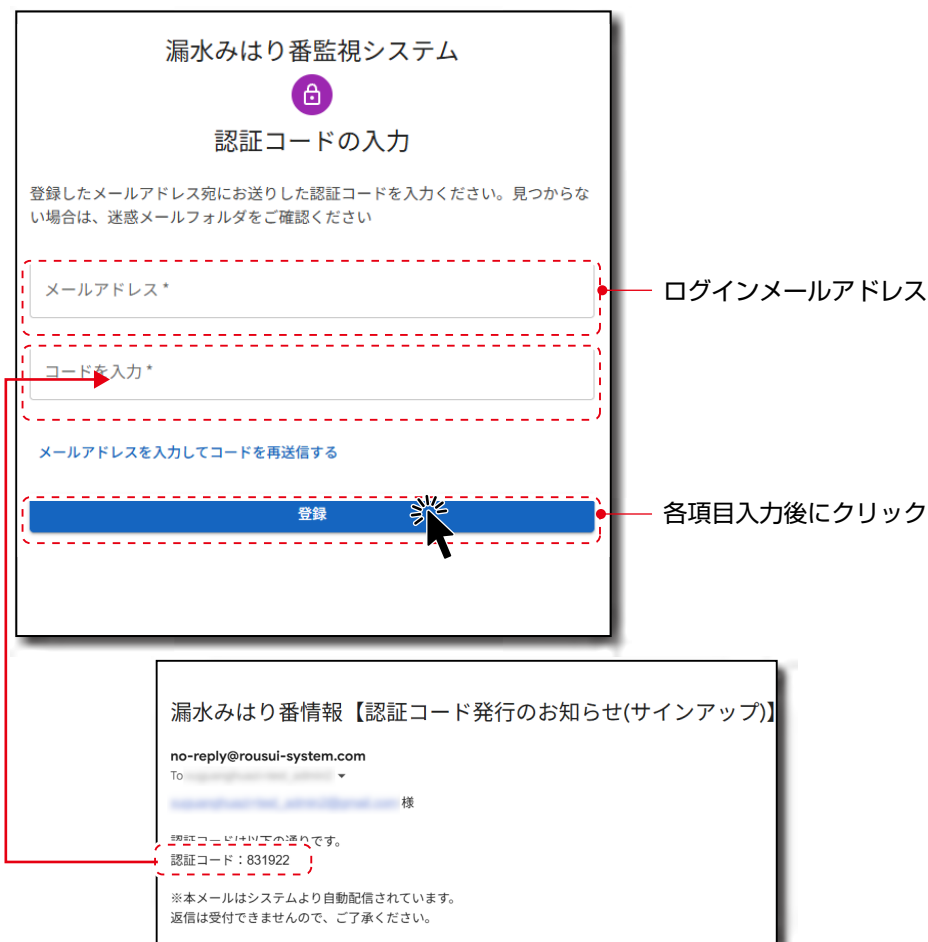
■ 認証コード入力前に認証コードの入力画面が消えた場合

1. 「ログイン画面」で【認証コードを入力する】をクリックします。



→ 「認証コードの入力画面」が開きます。

2. ログインメールアドレスを入力し、メール受信した認証コードを入力して【登録】をクリックします。



→ ログイン画面が開くので、ログインしてください。

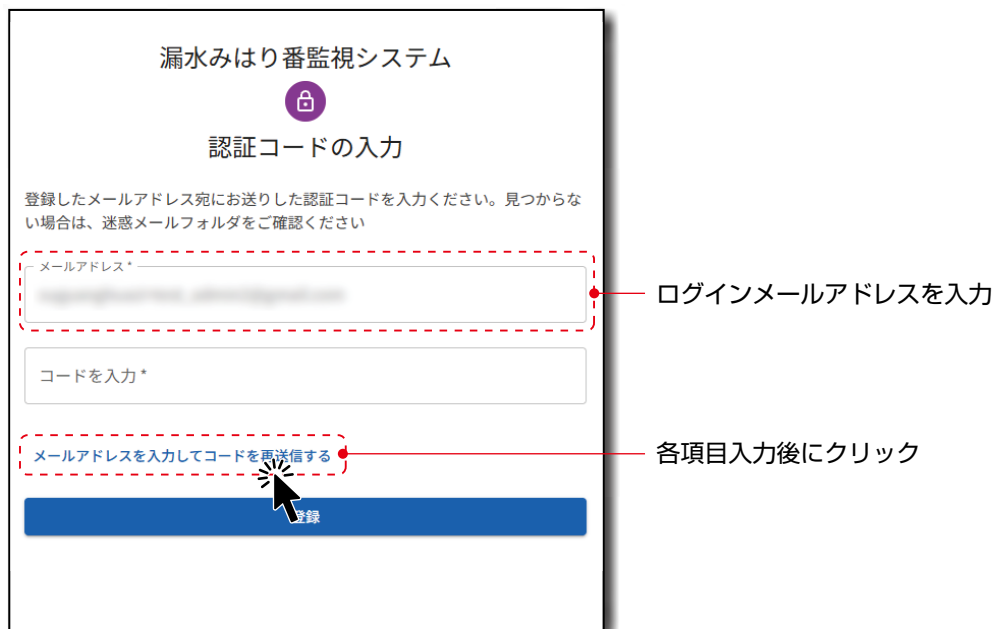
■ 認証コードの再取得

認証コード入力前に認証コードを忘れた場合、下記手順で認証コードを再取得してください。

1. 「ログイン画面」で【認証コードを入力する】をクリックします。



2. ログインメールアドレスを入力し、【メールアドレスを入力してコードを再送信する】をクリックします。
(※) コードは未入力で構いません。



→ ログインメールアドレスに認証コードが送信されます。

3. 認証コードを入力して【登録】をクリックします。

The image shows a two-step process for authentication. The first step is a web form titled "漏水みはり番監視システム" (Leakage Detection System) with the subtitle "認証コードの入力" (Authentication Code Input). The form contains a "メールアドレス*" (Email Address) field, a "コードを入力" (Enter Code) field, and a "登録" (Register) button. Red dashed boxes and arrows highlight the email address field (labeled "ログインメールアドレス 2. で入力済み"), the code input field (labeled "コードを入力"), and the register button (labeled "入力後にクリック"). Below the form is a screenshot of an email titled "漏水みはり番情報【認証コード発行のお知らせ(再送)】" (Leakage Detection System Information [Authentication Code Issuance Notice (Resend)]). The email content includes the sender "no-reply@rousui-system.com", the recipient's name, and the authentication code "794183". A red dashed box highlights the code in the email. A red line connects the "登録" button in the form to the email screenshot.

→ ログイン画面が開くので、ログインしてください。

5.4 建物の登録手順

漏水みはり番を使用するためには、まず建物を登録します。
漏水みはり番を設置する建物情報を登録するために「建物一覧画面」を開きます。
「建物登録画面」の表示方法は以下の二種類があります。

最初に作成したアカウントは管理者権限を持っています。システムに対して1名のみです。他のアカウントを作成する場合は、そのアカウントにsub_admin権限や manager権限を追加することで、建物情報を登録できます。アカウントの追加は「**■アカウント設定 (→P.44)**」をご参照ください。

■ 二次元コードでログインした場合

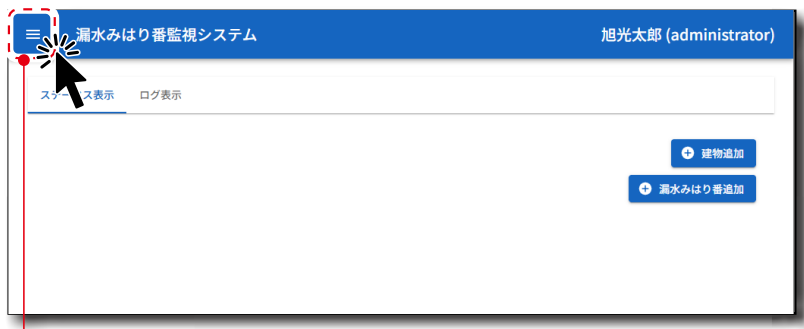
型式銘板の二次元コードでログインした場合は下図の登録画面が表示されます。



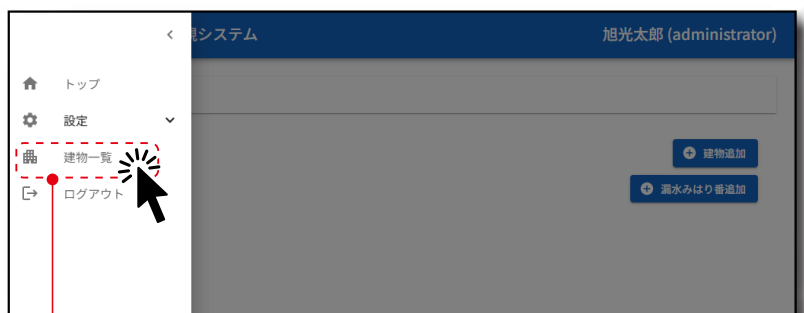
→ **【建物追加】** をクリックすると「建物登録画面」が開きます。

■ URLをブラウザ入力してログインした場合

ログイン後下図のトップ画面が表示されます。



クリック



クリック

→左上の【メニューバー】から【建物一覧】をクリックすると「建物一覧画面」が開きます。

■ 建物の初回登録

「建物一覧画面」では登録された建物情報が表示されます。
初回は建物が未登録のため、次の手順で建物登録してください。

1. 【+新規追加】をクリックします。



→ 「建物登録画面」が開きます。

2. 各項目を入力します。必要に応じてPDFファイルまたは画像ファイルのいずれか1つを添付することができます。全て完了したら、【登録】をクリックします。

POINT

- 添付できるファイルはPDFファイルまたは画像ファイルのいずれか1つです。
- 添付したファイルは削除できません。削除したい場合は建物削除をするか、別のファイルを添付してください。

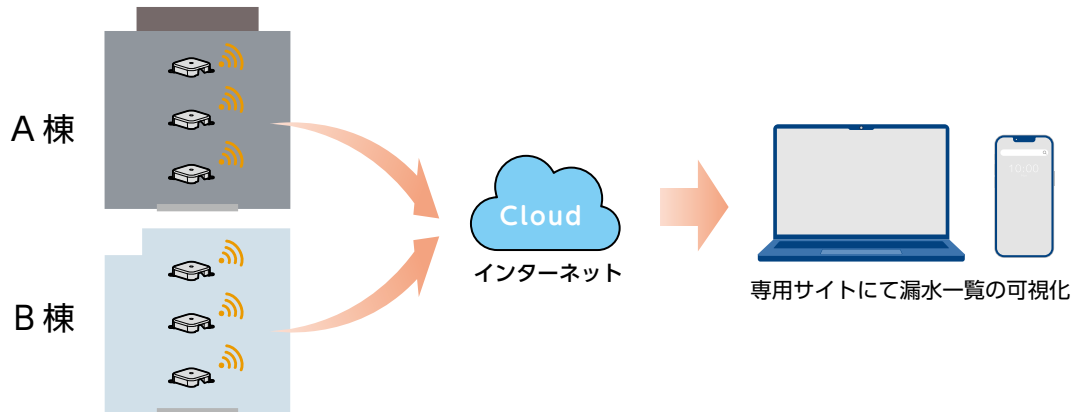
3. 登録完了と表示されたら、建物が登録が完了です。



→ 「建物一覧画面」に建物情報が表示されます。

■ 建物の追加登録

漏水みはり番監視システムは、複数の建物に設置した漏水みはり番を一括で監視することが可能です。



前ページの『建物の初回登録』と同じ手順で建物の追加登録ができます。

①

建物一覧
TOP / 建物一覧
新規追加
名前 ▲ 詳細場所
旭光電機株式会社 本社
デバイス編集

ページあたりの行数: 10 1~1/1

②

建物登録
会社名
旭光電機株式会社 明石工場
住所
兵庫県明石市大久保町江井島1722番地
詳細場所
戻る
登録
キャンセル

③

建物登録
会社名
旭光電機株式会社 明石工場
住所
兵庫県明石市大久保町江井島1722番地
詳細場所
戻る
登録
キャンセル
登録完了

④

建物一覧
TOP / 建物一覧
新規追加
名前 ▲ 詳細場所
旭光電機株式会社 本社
旭光電機株式会社 明石工場
デバイス編集
デバイス編集

建物情報が追加されました

ページあたりの行数: 10 1~2/2

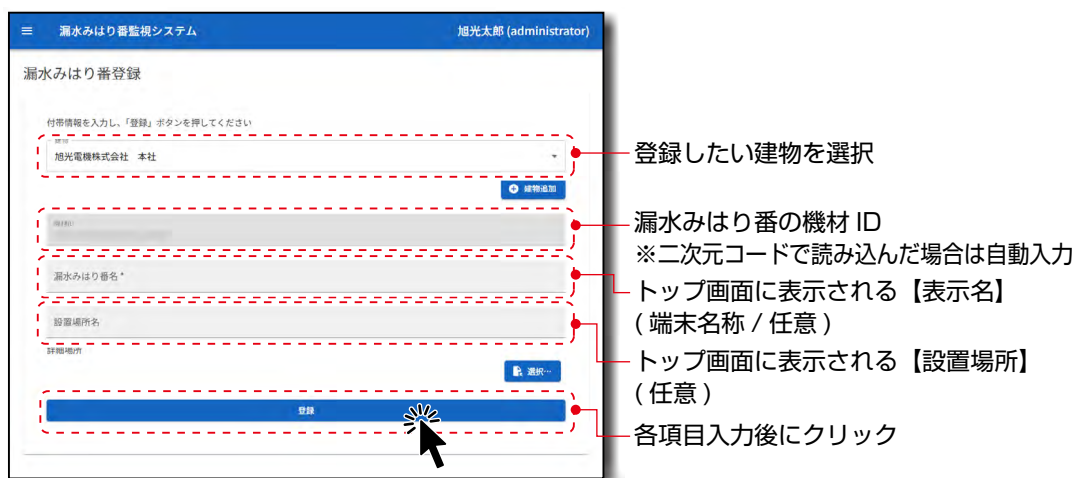
5.5 漏水みはり番の登録手順

登録した建物に設置する漏水みはり番の登録を行います。

1. 左上の【メニューバー】から【建物一覧】をクリックすると、「建物一覧画面」が開きます。
(建物登録の続きで「建物一覧画面」を開いている場合、本手順は不要です。)



※建物が登録済み、かつ二次元コードでログインした場合は、下図にて各項目入力・選択後【登録】をクリックしても漏水みはり番が登録できます。登録後は6.に進んでください。

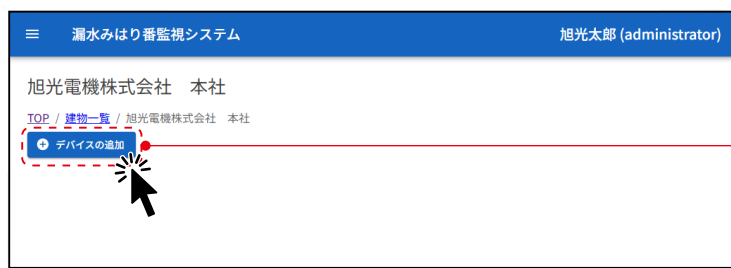


2. 漏水みはり番を設置する建物欄の【デバイス編集】をクリックします。



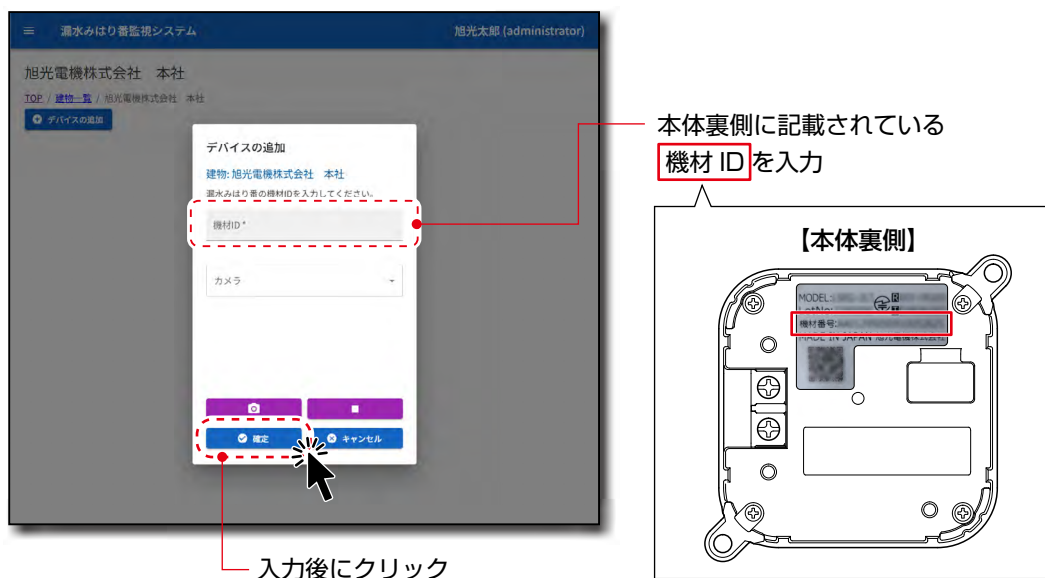
→「デバイス登録画面」が開きます。(下図は「旭光電機株式会社 本社」に設置する場合です。)

3. 建物に登録されている漏水みはり番の一覧が表示されます。(初回は漏水みはり番が未登録のため何も表示されません。)



→【+デバイスの追加】をクリックすると、「デバイスの追加画面」が開きます。

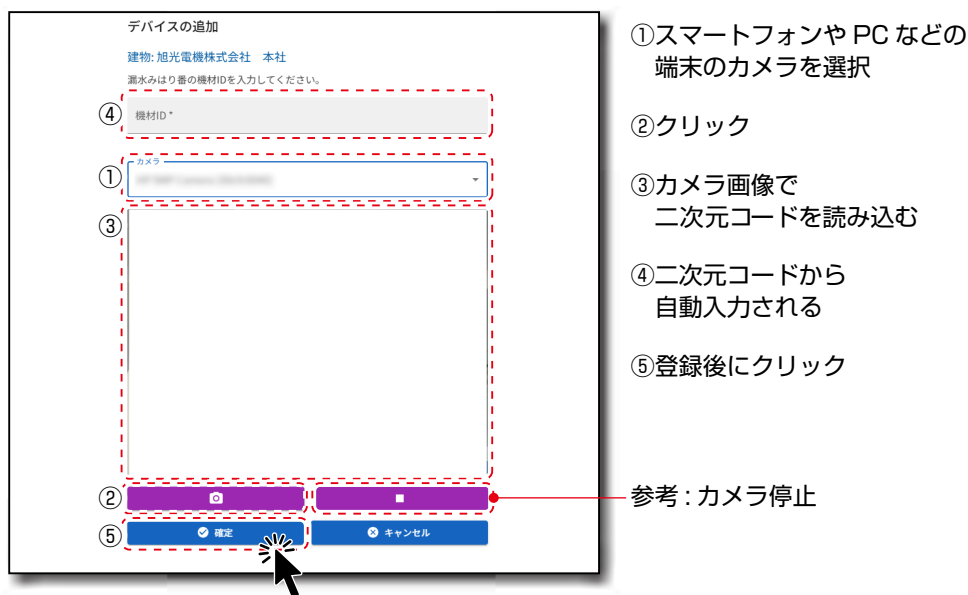
4. 漏水みはり番の銘板に記載されている機材IDを入力して【確定】をクリックします。



→「漏水みはり番登録画面」が開きます。

機材IDの入力は「カメラ」機能でも可能です。

【カメラマーク】をクリックすると、スマートフォンやPCなどの端末で撮影されるカメラ画像が映るので、追加登録したい漏水みはり番の二次元コードを読み込むと機材IDが自動入力されます。



→登録後【確定】をクリックします。以降は5.を参照ください。

■カメラが起動できなかった場合

「デバイスの追加」画面でカメラが起動されない場合は以下の確認をお願いします。

確認例：iPhone端末

設定画面から使用しているブラウザを選択し、カメラの設定を許可に変更。



POINT

- 上記以外の場合、スマートフォンやPCなどの端末のカメラ設定を確認してください。

5. 各項目入力後【登録】をクリックします。

自動入力済み

トップ画面に表示される【表示名】(端末名称)

トップ画面に表示される【設置場所】(任意)

設置場所の地図などのPDFファイルまたは画像ファイルのいずれか1つ(任意)

各項目入力後にクリック

→ 「デバイス登録画面」が開きます。

6. 登録した漏水みはり番の情報が表示されるのを確認した後、【TOP】をクリックします。

クリック

登録した漏水みはり番の機材ID

機材ID	表示名▲	種別	設置場所	詳細場所
24Y0014	LTE	4F 洗面所		表示

→ 「トップ画面」が開きます。

7. 登録した漏水みはり番のリセットボタンを押すと緑のLEDが2回点灯しテスト通信を行います。



→図のように『STATUS』と更新日時が「通信途絶」から更新されれば漏水みはり番の登録完了です。

POINT

- 通信環境が良い場合でも、専用サイトに漏水みはり番の情報が反映されるまで数分以上かかる場合があります。しばらく待っても通信途絶から更新されない場合は以下を確認してください。
 - ・登録した漏水みはり番の機材IDが間違っていないか確認してください。間違っていた場合は漏水みはり番の登録情報を削除して、再度登録してください。
 - ・専用サイト画面の更新を行ってください。
 - ・通信環境によっては通信出来ない場合がありますので、漏水みはり番を移動させて再度テスト送信を行ってください。
 - ※「テスト通信」後、合わせて通信強度の確認をされることを推奨いたします。
 - 通信強度は、漏水みはり番のSensorRSSI値を確認することで、おおよその通信状態を確認できます。
 - 一般的に値が「-70」以上で通信状態が良いとされています。（「-110」悪⇔「-50」良。）
 - SensorRSSI値の確認方法は、「7. 専用サイトについて」→「**漏水みはり番詳細情報表示**（⇒P.40）」を参照してください。

■ 建物、漏水みはり番の登録削除

建物の登録解除

1. 登録した建物の削除を行います。
 - ①左上の【メニューバー】から【建物一覧】をクリックすると、「建物一覧画面」が開きます。
 - ②削除したい建物をクリックすると「詳細情報編集画面」が開きます
 - ③【建物削除】のボタンをクリックしてください。
 - ④再度確認画面が開きますので、【削除】をクリックすると削除できます。

POINT

- 建物登録を削除すると、建物に登録されていた漏水みはり番も削除されます。

漏水みはり番の登録解除

1. 登録した漏水みはり番の削除を行います。
 - ①左上の【メニューバー】から【建物一覧】をクリックすると、「建物一覧画面」が開きます。
 - ②削除したい漏水みはり番が登録されている建物の【デバイス編集】をクリックします。
 - ③建物に登録された漏水みはり番の一覧が表示されますので、削除したい漏水みはり番をクリックします。
 - ④「詳細情報編集画面」が開きますので、【漏水みはり番削除】をクリックしてください。
 - ⑤再度確認画面が開きますので、【削除】をクリックすると削除できます。

■ MFA(多要素認証)について (オプション機能)

ログイン時に、MFA(多要素認証)を有効にすることが可能です。

- ①左上の【メニューバー】から【設定】をクリックし表示される【ユーザー設定】をクリックします。
- ②【MFA(多要素認証)有効化】をクリックします。
- ③表示された二次元コードまたはシークレットキーを認証アプリに登録し、表示された数字6桁のコードを「MFAコード」欄に入力してください。



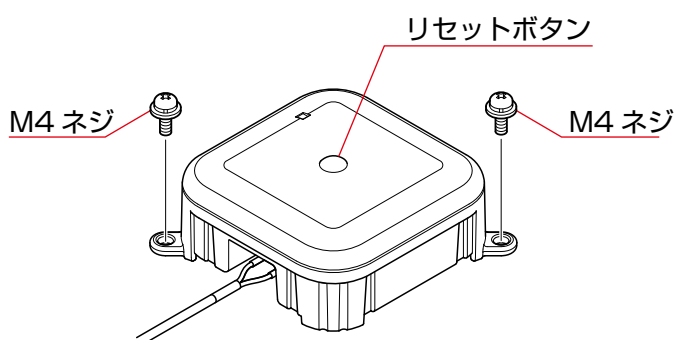
- ④ 2回目以降のログインではMFAコード入力欄が表示されます。認証アプリに表示された数字6桁のコードを「MFAコード」欄に入力してください。



6. 本体の設置と通信確認

漏水みはり番を、漏水検知したい場所に設置し、通信の確認を行います。

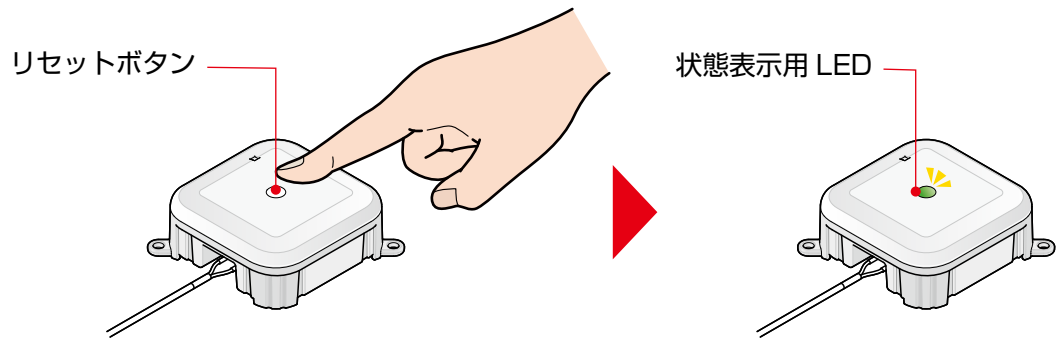
1. 検知帯を漏水検知したい場所に配置してください。漏水みはり番を固定したい場合は、M4ネジ2本で、設置面に固定してください。
※M4ネジ2本は本製品には付属しておりません。お客様にてご準備ください。



POINT

- 製品固定用のM4ネジは設置状況により適切なトルク値で締め付けてください。締め付けトルク値が大きすぎると、本製品や設置面が破損する可能性があります。
- ※ 本体固定用のM4ネジは付属しておりません。別途、お客様でご準備していただく必要があります。
- 固定に必要なネジや検知帯の固定具は防水性(防水加工)を推奨します。
- 製品本体は漏水を検知することができません。直接水がかからない場所に設置してください。

2. 漏水みはり番のリセットボタンを押してください。



→状態表示用LEDが緑に2回点滅します。

スマートフォン等の端末で専用サイトのトップ画面を開き、画面が更新されることを確認してください。

詳細は「5. 専用サイトの設定」→「5.5. 漏水みはり番の登録手順」の手順7. (→P.31)を参照ください。

画面が更新されることを確認したら、全てのセットアップは完了です。

検知帯が断線や、端子から外れた場合、「NG」判定を送信し、その後1回/日の定期通信を行います。

アイコン	状態
	漏水なし
	漏水検知
	通信途絶
	断線

検知帯が断線した（端子から外れた）場合

POINT

- 検知帯が設置面から浮くと、浮いた分漏水検出高さが高くなります。
- 検知帯が断線や本製品の端子から外れるなどすると、正確に漏水検知できない場合や、漏水検知自体できない場合があります。
- 検知帯と敷設面、または検知帯と検知対象物の間はできるだけ密着させてください。
- 検知帯は、吸水後の乾燥が早いので短時間で再使用が可能です。ただし、漏水の中に導電性、撥水性等の汚染物質が含まれている場合は再使用不可です。
- 検知帯は漏水を検知した後、水分が蒸発すれば復帰しますが、水の中に導電性等の汚染物質が溶解している場合は復帰しないことがあります。この場合はセンサを取り替える必要があります。
- 検知帯にワックス等の油分が付着すると、水をはじいて検知しない場合がありますので注意してください。
- 多量の結露が発生する場所への取付は避けてください。
- 検知帯は電線ではありませんので、漏水検知以外には絶対に使用しないでください。
- 人またはものが検知帯を踏みつける恐れのある場合は、検知帯を保護カバーで保護してください。
- 設置後に以下を点検してください。
 - ・ 敷設後の状態を目視で異常（浮き、ねじれ、断線等）のないことを確認してください。
 - ・ 電源投入後、検知器に異常のないことを確認してください。
 - ・ 検知帯に水をかけて動作を確認してください。
 - ・ 年に1度以上動作確認を行ってください。

7. 専用サイトについて

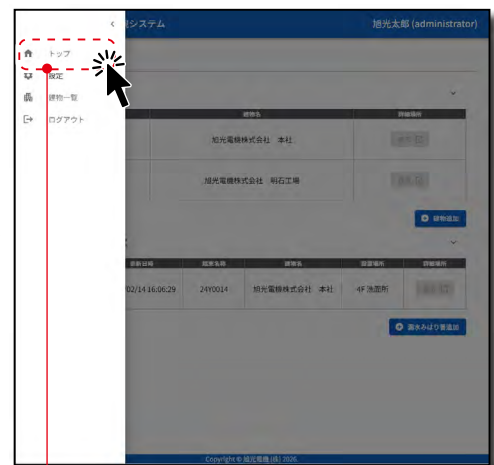
専用サイトの各機能について説明します。

■ トップ画面の開きかた

1. いずれの画面でも、左上の【メニューバー】から【トップ】をクリックします。



クリック



クリック

または「建物一覧画面」、「デバイス登録画面」で【TOP】をクリックします。



クリック



クリック

→ 「トップ画面」が開きます。

■ ステータスアイコン

「トップ画面」のアイコンは漏水みはり番の状況を表しています。

■ アイコン種類：

アイコン	状態	アイコン	状態	アイコン	状態
	漏水なし		断線		使用期限切れ
	漏水検知		通信途絶		まもなく使用期限切れ

POINT

- 通信途絶は10日間以上データの受信が無い場合表示されます。
- 検知帯が断線したり、端子から外れた場合、状態が「断線」となります。再度、検知帯を確認してください。
- 本製品の使用期間は、最初に製品を登録した日から3年間です。使用期限が近くなると、使用期限切れが表示されます。漏水みはり番詳細情報表示で、使用期限をご確認ください。



アカウント作成時に設定した名前と権限種別が表示されます

漏水みはり番の状態を緊急度の高いものから表示
緊急度：通信途絶＞漏水＞断線＞漏水なし

※建物内に1台でも通信途絶、漏水、断線があれば、アイコンが表示されます

POINT

- 漏水検知した場合は、速やかに設置場所の状況をご確認ください。
- 一度「漏水検知」すると、設置場所の漏水が無くなっても「漏水検知」を発報し続けます。
- 「漏水検知」の発報を止めるには、漏水みはり番（検知帯を含む）を完全に乾燥させてから、漏水みはり番のリセットボタンを押してください。
- 漏水が5秒未満の場合「漏水検知」しません。

■ 建物詳細情報表示

「トップ画面」の建物情報のアイコンをクリックすると、建物情報の詳細が表示されます。



項目	内容
建物名	建物登録時に入力した建物名称
住所	建物登録時に入力した住所

POINT

- 「トップ画面」の建物情報の建物名をクリックすると、その建物に登録された漏水みはり番が表示されます。
- 建物や漏水みはり番の横にある「▼」や「▽」をクリックすると、表示のフィルタ設定を変更することができます。



■ 漏水みはり番詳細情報表示

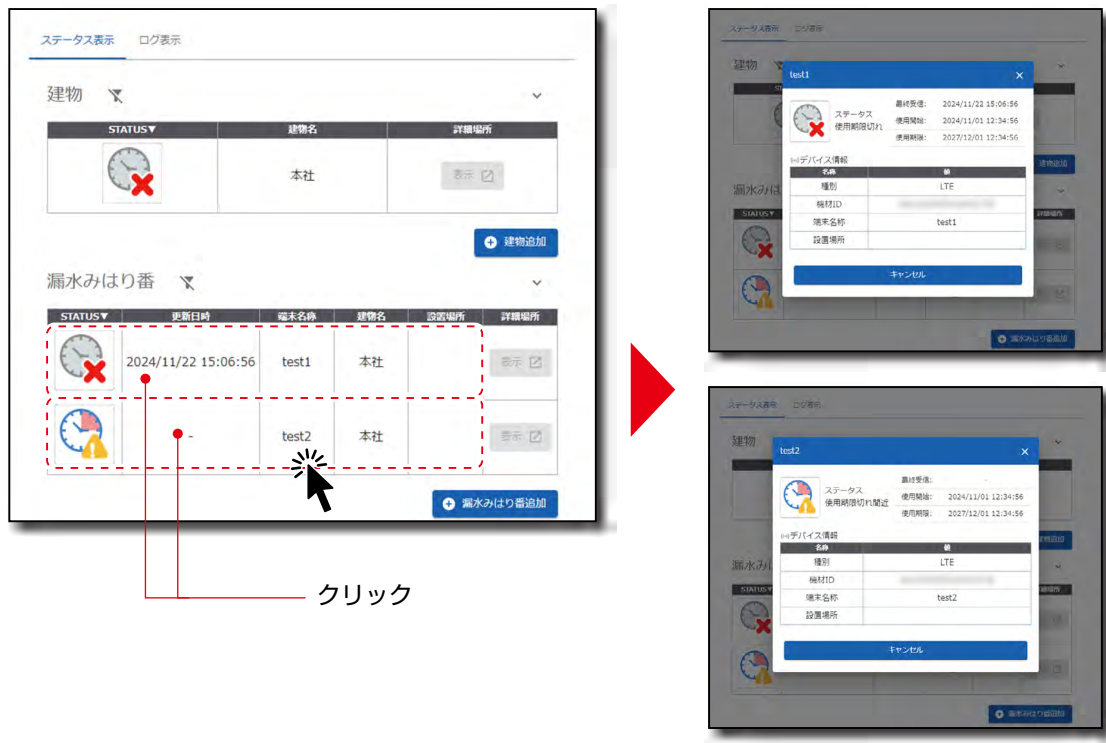
「トップ画面」の漏水みはり番欄をクリックすると、設置した「漏水みはり番」それぞれの詳細が表示されます。





項目	内容
種別	漏水みはり番の種別
機材ID	漏水みはり番登録時に入力した機材ID
端末名称	漏水みはり番登録時に入力した漏水みはり番名称
設置場所	漏水みはり番登録時に入力した設置場所名称

使用期限について

ステータス欄のアイコンに、 や  が表示されている場合は、漏水みはり番本体の使用期限が切れている、または使用期限が近づいています。クリックすることで、それぞれの詳細が表示されます。



スクリーンショットの左側には、漏水みはり番の管理画面が表示されています。上部には「建物」のセクションがあり、下部には「漏水みはり番」のテーブルがあります。テーブルには以下のデータが含まれています。

STATUS	更新日時	端末名称	建物名	設置場所	詳細場所
	2024/11/22 15:06:56	test1	本社		表示
	-	test2	本社		表示

右側のスクリーンショットは、このテーブルから選択された漏水みはり番の詳細を表示するポップアップウィンドウの例です。

test1 の詳細:

項目	値
最終更新	2024/11/22 15:06:56
ステータス	ステータス
使用開始	2024/11/01 12:34:56
使用期限切れ	使用期限切れ
使用期限	2027/12/01 12:34:56

test2 の詳細:

項目	値
最終更新	-
ステータス	ステータス
使用開始	2024/11/01 12:34:56
使用期限切れ	使用期限切れ
使用期限	2027/12/01 12:34:56

また、右側のスクリーンショットには「デバイス情報」のセクションがあり、以下の情報が表示されています。

項目	値
種類	LTE
機材ID	
端末名称	test1
設置場所	

■ 漏水みはり番のログ表示

「トップ画面」の【ログ表示】をクリックすると、漏水みはり番からのデータ受信履歴を確認できます。



項目の一例は以下の通りです。

項目	内容
ReceiveTime	サーバでデータを受信した日時
SensorInfo	漏水みはり番の状態 LEAK(漏水あり)/LEAKOFF(漏水なし)/NG(断線)
SensorId	漏水みはり番の機材ID
Voltage	漏水みはり番の電池電圧
SensorVer	漏水みはり番のSWバージョン
SensorRSSI	漏水みはり番の電波強度

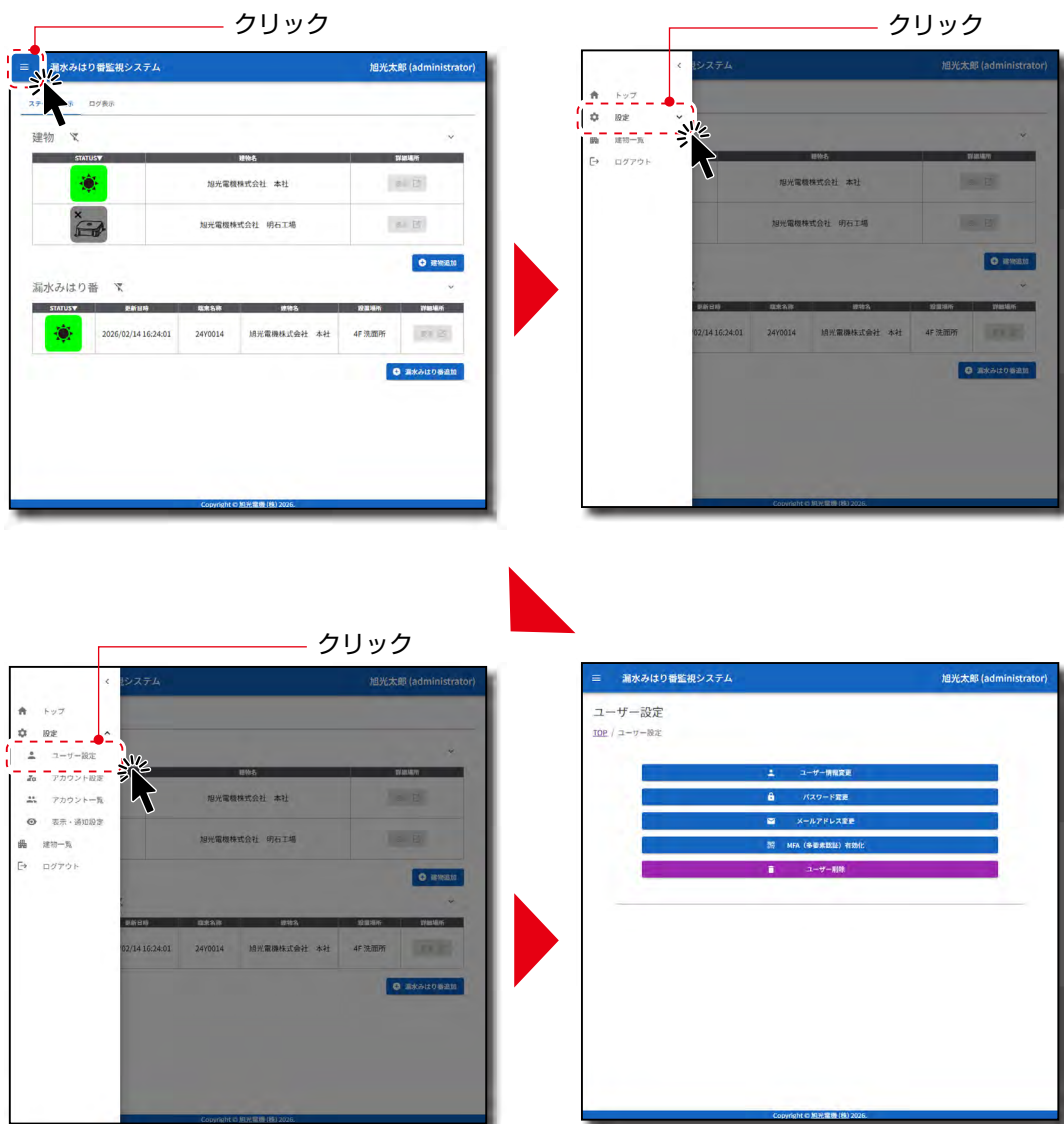
POINT

- SensorRSSI値は電波強度を表しています。-110 (弱) ~ -50 (強)。
※RSSIが取得できなかった場合はエラー値「99」が表示されます。この場合、通信環境が悪い可能性があります。漏水みはり番の設置位置を見直してください。
- それぞれの漏水みはり番のログの保存期間は、最初に製品を登録してから4年間です。

■ ユーザ設定変更

「ユーザ設定画面」より、トップページに表示されるユーザ名の変更とパスワードの変更、ユーザ削除（アカウント削除）が可能です。

1. 下図の手順で「ユーザ設定画面」を開きます。



→ 「ユーザ設定画面」が表示されます。

2. 変更したい項目をクリックして、変更してください。

POINT

- 【ユーザ削除】をクリックすると、建物登録情報、漏水みはり番登録情報も合わせて削除されます。

■ アカウント設定

専用サイトへのアクセス可能なアカウントとして、以下のアカウントの追加作成が可能です。

administratorはログイン画面から作成されたアカウントとなり、1システムに対して1名となります。本アカウントを削除した場合、システム全体の情報(ユーザ、建物、デバイス情報などの設定内容や、漏水みはり番からの受信データすべて)が削除されるのでご注意ください。

- administrator : システム全体を管理するアカウントです。すべての作業が可能です。1名のみ設定できます。
- sub_admin : 建物とデバイス、一部のアカウントを追加できるアカウントです。システムを作成後は、こちらのアカウントで作業することを推奨します。1システムに対して16名まで設定できます。
- manager : デバイスと一部のアカウントを追加可能なアカウントです。建物を追加することはできません。それぞれの建物を管理する管理者が該当します。1システムに対して16名まで設定できます。
- user : 漏水みはり番の状態を確認できるアカウントです。建物やデバイス、ユーザを追加できません。漏水が発生したときに、本体を確認する担当者が該当します。1システムに対して32名まで設定できます。

	建物追加	sub_admin 権限の アカウント 追加	manager 権限の アカウント 追加	user権限の アカウント 追加	漏水みはり 番追加	ログ表示	自分自身の アカウント 情報編集	ステータス 表示	メール受信
administrator	○	○	○	○	○	○	○	○	○
sub_admin	○		○	○	○	○	○	○	○
manager				○	○	○	○	○	○
user						○	○	○	○

権限の優先順位は administrator > sub_admin > manager > user となります。

■アカウント追加手順

1. 下記の手順で「アカウントの追加」の入力画面を開きアカウントの追加を行います。

ログイン後のトップ画面に表示される名前となります

送信先アドレス、ログイン時のアカウントとなります

権限選択：sub_admin
manager
user

sub_admin, manager 権限のユーザがアカウントの追加を行う場合は、自身の権限より低い権限のアカウントのみ追加可能となります。

各項目入力後にクリック

※追加したユーザーのメールアドレスに、仮パスワードが送信されます。

ログイン画面から送信されたパスワードでログインしてください。

※専用サイトのアカウント作成 (5.2 アカウントの作成方法、p.13) では、sub_admin, manager, user権限のアカウントを作成することができません。

2. 追加したアカウントにアクセス可能な建物を紐づけることができます。
建物との紐づけを有効にすることで、対象のアカウントは建物に属する漏水みはり番の稼働状況の確認や、メール通知を受けとることが可能となります。
sub_admin 権限のユーザは全建物有効 (変更不可) となります。

利用者	権限	旭光電機株式会社 本社	旭光電機株式会社 明石工場	備考
旭光花子[未ログイン]	sub_admin	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	サブアドミン
旭光次郎[未ログイン]	manager	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	マネージャー
旭光三郎[未ログイン]	user	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ユーザー

変更不可

無効

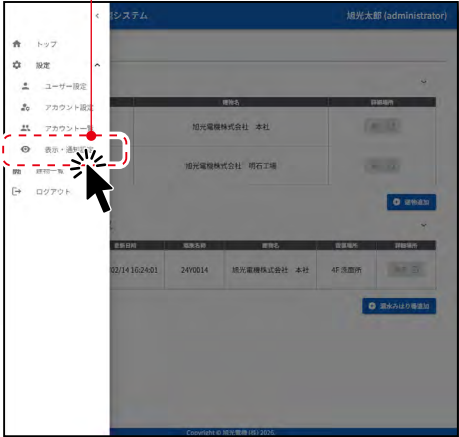
有効

■ 表示・通知設定

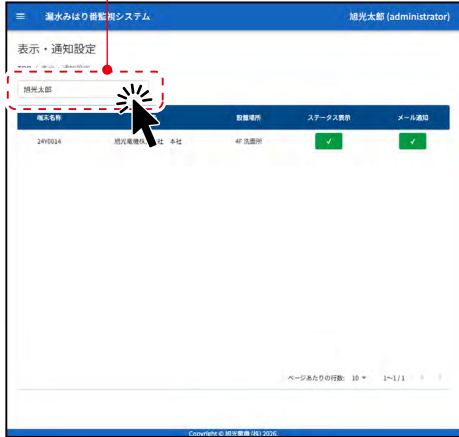
下位権限のユーザアカウントのステータス表示、メール通知の設定を行うことが可能です。

下記の手順でアカウントの設定内容を確認し設定変更できます。

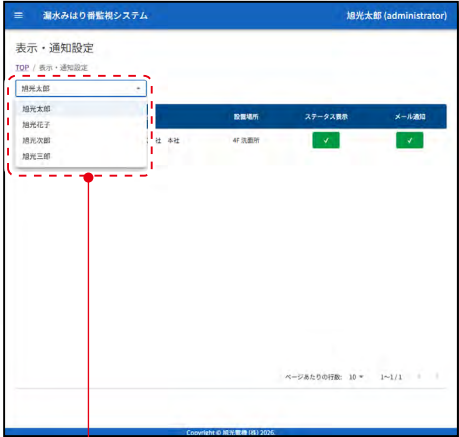

クリック



クリック



トップ画面のデバイスのステータス表示の有効無効を設定

設定可能なアカウントの一覧が表示されるので対象のアカウントを選択

漏水発生、復帰等のメール通知の有効無効を設定

■ 通知内容

漏水発生時には登録された送信先に以下のメールが通知されます。

通知元：no-reply@rousui-system.com

件名：漏水みはり番情報【漏水】



→ サイトURLをクリックすると、ログイン画面が表示されます。

POINT

- メール通知は漏水検知、漏水復帰 (リセットボタンを押した時) のみとなります。
- 定期通信、断線、通信途絶、は専用サイトでご確認ください。
- メールが届かない場合は、迷惑メールに入っていないか、「no-reply@rousui-system.com」がドメイン拒否されていないかご確認ください。
- 漏水みはり番 (検知帯含む) が完全に乾燥した状態で漏水みはり番のリセットボタンを押した場合、漏水なしが通知されます。乾燥が不完全な状態でリセットボタンを押した場合、漏水検知メールが通知されます。
- 事前にメールBOXの空き容量を確認してください。メールBOXの空き容量がないと通知メールが届かない場合があります。

8. 運用上の注意・その他

8.1 漏水検知した場合

- ・漏水検知した場合は、速やかに設置場所の状況をご確認ください。
- ・一度漏水検知すると、漏水みはり番は設置場所の漏水が無くなっても漏水検知を1日に1回発報します。
- ・漏水検知の発報を止めるには、漏水みはり番（検知帯含む）を完全に乾燥させてから、漏水みはり番のリセットボタンを押してください。

POINT

- 漏水が5秒未満の場合、漏水検知しません。

8.2 通信途絶が発生する場合

設置後の通信環境の変化により、電波が基地局に届きづらくなった可能性があります。本製品の設置場所を変更して通信状態を確認するなどしてください。場合により、設置場所を変更してください。

電池切れの可能性があります。本製品のリセットボタンを押して状態表示用LEDが点灯するか、電池残量が減っていないか確認してください。

8.3 使用可能な期間

本製品の使用期間は、電源を入れてから約3年間です。専用サイトをご確認ください。

9. トラブルシューティング

本機をご使用中に、トラブルと思われることが生じた場合の原因および対処方法について説明しています。お問い合わせ前に、もう一度お調べください。

症状	原因と対処方法
本体の電源が入らない	リセットボタンを押すことで電源が入り、状態表示用LEDが点灯します。リセットボタンはセンサ天面の丸い突起部です。この突起部を押すことでケース天面を押し込むことで、内部のスイッチを押す構造になっています。
電源が入っているか分からない 状態表示LEDが点灯しない	本製品は、定期通信時やリセットボタンを押さない限り、状態表示用LEDが点灯しません。故障ではありません。電源が入っているか確認するには、リセットボタンを押して、通信確認を実施してください 本製品は、10日に1回の定期通信を行っています。設置後10日間お待ちください。
リセットボタンを押しても、状態表示用LEDが点灯しない	状態表示LEDは、リセットボタンを押している状態では点灯せず、指を離した際に点灯します。リセットボタンを押した後に指を離してから確認してください。
漏水を検知しない	検知帯の漏水検知部分が、漏水箇所にないと、漏水を検知しません。漏水箇所に配置してください。
	検知帯の先端部分(黒い箇所)は、漏水検知ができません。漏水検知部分をご使用ください。
	検知帯が浮いていると漏水を検知できません。漏水箇所に密着するように、検知帯の漏水検知部分を固定してください。
	漏水が5秒未満の場合は、漏水を検知できません。
可視化画面にデバイスが表示されない デバイスの「STATUS」が更新されない	可視化画面に情報が反映されるまでに数分以上かかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
	登録したデバイスの機材IDが間違っていないか確認してください。間違っていた場合は、登録済のデバイスを削除し、正しい機材IDでデバイスの登録を行ってください。
漏水していなくても、漏水検知のメールが届く	設置した場所の通信環境がよくないと、通信できない場合があります。本体の設置場所を変えて、通信テストを行ってください。
	通信強度を確認してください。漏水みはり番のSensorRSSI値を確認することで、およその通信状態を確認できます。一般的に「-70」以上が通信状態がよいとされています。

上記項目の対処を行っても改善しなかった場合は、お手数ですが、弊社問い合わせ窓口(メール)までお問い合わせください。

本体を分解、修理改造はしないでください。

※お客様のスマートフォンやPCなどの端末に関するお問い合わせをお受けすることはできません。

■お問い合わせ窓口宛先

旭光電機株式会社 漏水みはり番 サポート

rousui_support@kyokko.co.jp

保証について

■ 保証条件

- ・保証期間はご購入後1年間です。
- ・保証期間内に当社責任により故障が発生した場合、当社判断により故障部分の交換、修理を無償で行わせて頂きます。但し、設置費用、工事費用等、本製品以外の費用は含みません。

■ 免責事項

- ・故障の原因が次に該当する場合は、保証範囲から除外させていただきます。
 - ① 製品仕様外でご利用された場合。
 - ② 本製品の故障原因が本製品以外の事由による場合。
 - ③ 当社以外での改造、修理による場合。
 - ④ 天災地変などによる場合。
 - ⑤ ご購入後の輸送、落下などによる場合。
 - ⑥ 本取扱説明書に従わずに本製品を扱った場合。

■ その他

- ・本製品に関連して生じた損失、損害について当社は一切責任を負わないものとします。
- ・ご購入価格には技術者対応費用やサービス費用は含んでおりません。設置、試運転等の立ち合い、保守点検、技術指導、お客様ご指定による試験や検査が必要な場合などは、個別費用を申し受けます。

漏水みはり番 監視システム LSEGシリーズ【LTE版】

製造元：旭光電機株式会社



〒652-0032 兵庫県神戸市兵庫区荒田町1丁目2番4号

©2026 Kyokko Electric Co., Ltd. All Rights Reserved